コマコート 消気泡効果型コンクリート剥離剤

18 ℓ缶,200 ℓ缶

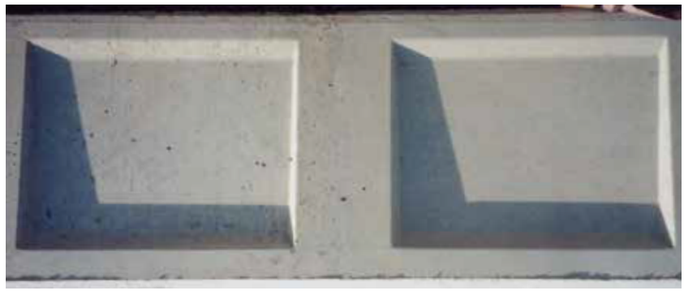
現在、益々コンクリート建造物及び製品の検査管理の基準が向上し、強度的問題はもちろん、仕上げ面の良否（平滑であるか、色はどうか、気泡の程度はどうか、表面強度はどうか）など重点視され、施工業者の技術的評価の一つとなっています。
コマロックはこれらの解決に大きな役割を担っている剥離剤に着眼し、消気泡効果及び剥離強化を生むコマコートを開発致しました。

コンクリート仕上げ面の追求点

1.生コンの良否（使用セメント・骨材・スランプ・混合状態・混和剤等）
2.生コンの打ち込み方の良否
3.締固め方法の良否（バイブレーターの掛け方）
4.建造物の形状（テーパーの有無）
5.型枠表面の良否
⑥使用コンクリート剥離材の良否（コマコート）

コマコート
【用途】一般土木工事、シールド、トンネル、ケーソン、ダム、河川港湾、打放し工事コンクリート、異形ブロック、二次製品全般
【使用方法】コマコートは油性タイプですので原液をそのまま使用して下さい。（モップ、刷毛、スプレー等）極めて少量で充分剥離効果が有りますので多量に塗布する必要がありません。
【塗布面積】1ℓ当たり約20～25㎡
【主成分並びに性状】
1.鉱油、消泡添加剤、剥離強化剤、その他。
2.消防法　危険物第4類第2石油類 危険等級Ⅲに該当します。
3.原料として労働安全衛生法に定められた有害物質は使用しておりません。

コンクリート配合等、同条件での比較



一般的剥離剤使用　　コマコート使用

株式会社サンヒット商会
東京都豊島区西巣鴨１－15－１
TEL 03-3915-0706　FAX 03-3915-0728
商品ページはこちら　当社 HP はこちら

★NETIS登録商品　HK-110038-A

コマコートECO 〈エコ〉

自然環境にやさしい植物油コンクリート剥離剤
植物油を基油としており生分解性を有しております。
18 ℓ缶,200 ℓ缶

【特　長】
●剥離剤による色付きが無く、いつまでも白く美しい表面を保ちます。
●生分解性率が高いため自然界に飛散、漏洩してもほとんど悪影響を与えることはありません。
●コンクリート面の油分が残存しづらく、2次施工のモルタル仕上げ、タイル張りの付着強度を阻害しません。

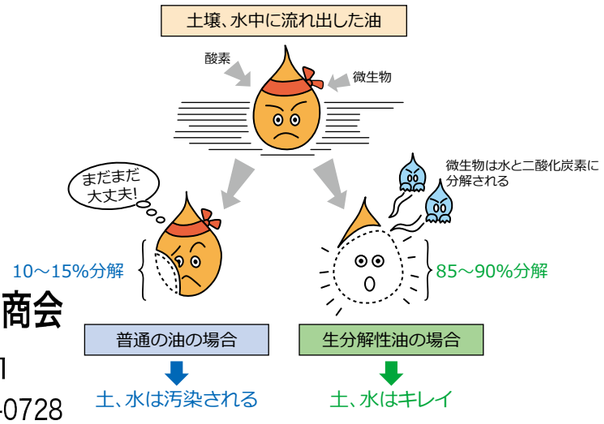
【用　途】
●振動締固め用、鋼製、木製合板、ステンレス、アルミ、発泡スチロール、セントル型枠

【使用方法】
●噴霧器、スプレー、モップ、ローラー等で原液でそのまま型枠に塗布してください。

【主成分並びに性状】
1.脂肪酸エステル95%以上、樹脂酸5%未満
2.消防法危険物第4類動植物油類に該当します。
3.原料として労働安全衛生法に定められた有害物質は使用しておりません。

生分解性コンクリート剥離剤ってどんなもの?

生分解性コンクリート剥離剤は、鉱油で作られた物に比べ、型枠にスプレー、ローラーなどで塗布中に大気、土壌、海、河川等に飛散、漏洩しても自然環境及び人体に対する影響は少なく自然界に存在する微生物が油分を食い潰し、油分がほとんどなくなってしまう剥離剤のことをいいます。油分を食い潰した微生物自体も、二酸化炭素と水に分解されて自然界に戻るので、自然界に影響を与えることがほとんどありません。
日本には、生分解性油剤の使用を義務付ける規格や規制はありませんが、自然体系に及ぼす影響も無視できません。生分解性の試験はOECD（経済協力開発機構）ASTM（アメリカ材料試験協会）が定めた試験方法で、28日以内に生分解性率が60%以上のものを生分解性油剤としています。



潤滑油剤の種類別生分解率

潤滑油剤の種類	生分解率(%)
鉱物油（ナフテン系）	5～10
鉱物油（パラフィン）	40～60
植物油	80～100
エステル系合成油	0～100

当社製剥離剤の生分解率の比較

剥離剤名	生分解率(%)
コマコートECO	99.2
コマコート	32.3